



ROCK PAINT

114ライン

ユメロック®

弱溶剤二液型NADシリコンウレタン樹脂塗料

高耐候性

低汚染性

臭気マイルド

防藻・防カビ性

環境低負荷

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます



ロックペイント株式会社

「塗りやすく」「美しく」、そして「高耐久性」を兼ね備えました。

ウレタン樹脂の強靱性、シリコン樹脂の高耐候性、低汚染性の機能をハイブリッドさせた弱溶剤型の環境配慮塗料です。

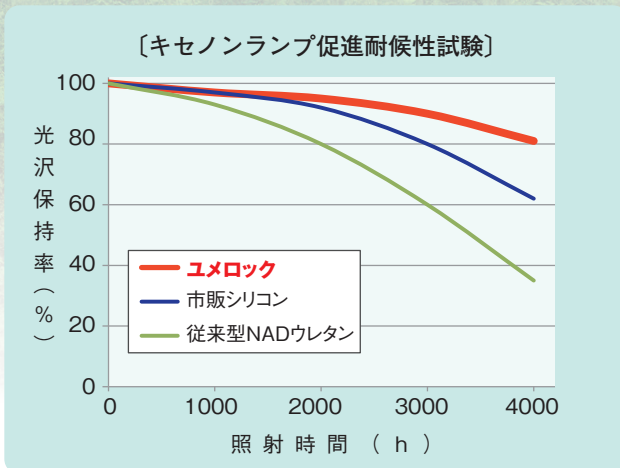
ユメロックは塗料と塗装の **夢** を美しく彩ります。

特長

1. 高耐候性・低汚染性

特殊成分配合により、従来の弱溶剤型ウレタン塗料に比べて、すぐれた耐候性・耐久性および低汚染性を発揮します。

● 耐候性比較



2. ウレタンの強靱な塗膜を形成

付着性、耐久性、耐アルカリ性、耐薬品性による変退色や光沢の低下が小さく、また、衝撃や寒暖の差による塗膜の割れも起きにくくなっています。

3. 塗料用シンナー希釈型

下地、旧塗膜を侵しにくく、幅広い塗り替え用途に適応できます。

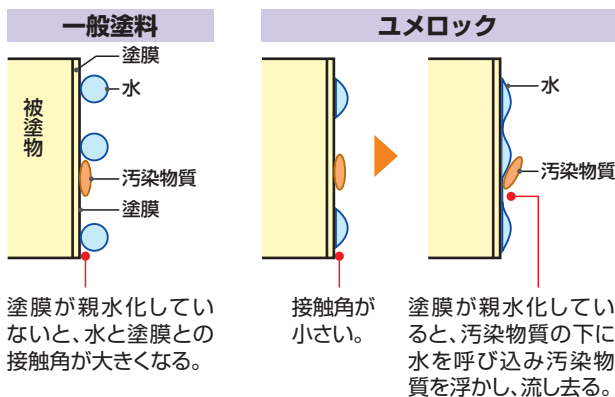
4. 臭気がマイルド

従来の弱溶剤型NAD塗料のような独特の臭気がなく、マイルドなおいんです。

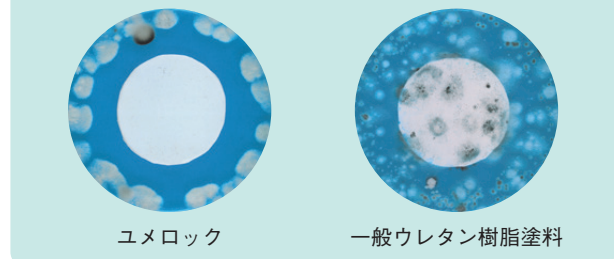
5. 防藻・防カビ性

カビや藻類の発生を抑制し、清潔な住環境を維持します。

汚れの落ち方



【カビ抵抗試験結果(4週間)】



6. 環境低負荷

鉛・クロムなどの有害な重金属を原料として配合せず、環境にやさしい塗料です。

※上記に記載された図、結果等は特定の試験の場合における実測値または計算値であり、その効果、性能を保証するものではありません。

用 途

- 屋内外のコンクリート、モルタル、鉄・非鉄金属部、木部などの新設及び塗り替え。
- サイディングボード、硬質塩ビなどの塗り替え。

※アクリル板、軟質塩ビには塗装できません。

※鉄、非鉄金属部に塗装する場合は、必ず下塗りに適性のあるサビ止めペイントを塗装してください。

※木部に塗装する場合には、「木部・弾性用硬化剤」を使用してください。

※木の材質、下地の状況によっては割れ、はがれを生ずることがありますので、事前に試し塗りなどを実施し、確認してください。

使用方法

- 配合比(重量比) 主剤：硬化剤＝9：1（13.5kg：1.5kg）
- 可 使 時 間 硬化剤を配合した塗料は、時間の経過と共に増粘・固化して使用できなくなります。次の表を目安に、配合した塗料は可使時間内に使い切ってください。可使時間を過ぎた塗料は、正常な塗膜性能が発揮できません。

気 温	5℃	23℃	30℃
可使時間	18時間	7時間	4時間

- 希 釈 剤・割 合 塗料用シンナー（硬化剤を配合した塗料100に対する希釈割合）
ハケ・ローラー：5～15%、エアレス：10～20%
- 乾 燥 時 間 気温、膜厚、素地の状態などにより乾燥時間は異なりますが、次の表を参考にしてください。

気 温	5℃	23℃	30℃
指 触 乾 燥	50分	25分	15分
塗り重ね可能時間	4時間以上	2時間以上	1.5時間以上

性 能

項 目		塗料種類	114ライン ユメロック	2液NAD型 ウレタン樹脂塗料	2液溶剤型 アクリルシリコン樹脂塗料
光沢(60°グロス)			90	85	80
乾燥時間(23℃)	指 触		25分	25分	20分
	塗り重ね		2時間以上	2時間以上	24時間以上
耐水性(23℃水道水に1ヶ月間浸漬)			◎	◎	◎
耐温水性(40℃温水に1週間浸漬)			◎	◎	◎
耐アルカリ性(23℃ Ca(OH) ₂ 飽和溶液に1週間浸漬)			◎	○	◎
耐酸性(23℃、0.5% H ₂ SO ₄ 水に1週間浸漬)			◎	○	◎
耐衝撃性(JIS K 5600 デュポン式)			500g×30cm合格	500g×50cm合格	300g×30cm合格
耐屈曲性(JIS K 5600 円筒形マンドレル法)			φ3mm合格	φ2mm合格	φ8mm合格
付着性*1	モルタル		◎	◎	◎
	鋼板		◎	◎	◎
	木		◎	◎	不可
	硬質塩ビ		◎	◎	△
促進耐候性 (キセノンランプ2500時間)	白亜化の等級(JIS K 5600)		1未満	1	1未満
	光沢保持率		93%	70%	95%
耐汚染性*2			○	△	◎

注) ● 評価の基準：(優) ◎>○>△>× (劣)

※1：付着性は各種基材に塗料を塗布し、23℃で3日間養生後、7日間水に浸漬したものをクロスカットを行い、セロハンテープで剥離して確認。

※2：耐汚染性はガラス板に塗料を塗布し、23℃で24時間養生後、汚染物(カーボン+水)を5時間塗膜上に塗布の後、水洗して外観を観察。

※上記の図の数値等は特定の試験の場合における実測値または計算値であり、その効果、性能を保証するものではありません。

標準塗装仕様

〔塗り替え〕

1. コンクリート、モルタルなど可とう形改修塗材Eを使用した塗り替え

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能 時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜のはがれ部分、ふくれ部分は、皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具で完全に除去する。またエフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	032-2106 ビニロック エラスティックフィラーⅢ ^{注1)} (可とう形改修塗材E)	水	ローラー : 5~10%	1	0.3~0.5	8時間以上
			エアレス : 5~10%			
			砂骨ローラー : 1~ 5%		0.8~1.5	
上塗り	114ライン ユメロック ^{注2)} 配合比(重量)主剤:硬化剤=9:1	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15% エアレス : 10~20%	2	0.11~0.13	2時間以上

2. 窯業系サイディングボードなどの塗り替え

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能 時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜のはがれ部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具で完全に除去する。またエフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	032-2001 ロックSBフィラー ^{注3)}	水	ハケ : 1~5% ローラー : 1~5%	1	0.2~0.4	3時間以上
上塗り	114ライン ユメロック 配合比(重量)主剤:硬化剤=9:1	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15% エアレス : 10~20%	2	0.11~0.13	2時間以上

3. 鉄部、非鉄金属部の塗り替え

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能 時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜のはがれかかった部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具で、浮き塗膜、さびなどは、電動工具、手工具で除去する。チョーキングした面、汚れ、じんあいなどはサンドペーパー、ウエス等で除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り ^{注4)}	061ライン 2液型サビカット 配合比(重量)主剤:硬化剤=9:1	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 0~ 5% エアレス : 5~10%	1	0.13~0.15	4時間以上 7日以内 ^{注5)}
上塗り	114ライン ユメロック 配合比(重量)主剤:硬化剤=9:1	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15% エアレス : 10~20%	2	0.11~0.13	2時間以上

4. 硬質塩化ビニル、F.R.P.面の塗り替え

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能 時間 (23℃)
下地調整	ゴミ、汚れ、油分などはワイヤーブラシなどで完全に除去する。 塗装する前にサンドペーパーP240~P400で研磨による足付けを行う。					
下塗り	114ライン ユメロック 配合比(重量)主剤:硬化剤=9:1	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15% エアレス : 10~20%	1	0.11~0.13	2時間以上
上塗り	114ライン ユメロック 配合比(重量)主剤:硬化剤=9:1	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15% エアレス : 10~20%	1	0.11~0.13	2時間以上

注1) 塗装用具はローラー、エアレス、砂骨ローラーの他にリシンガン、タイルガンも使用できます。

注2) 弾性仕上げの場合、硬化剤は木部・弾性用硬化剤を使用してください。

注3) 光触媒処理や無機系コーティング材など付着しにくい面には、ハイパーシーラーエポを下塗りに使用してください。

※仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮にいれた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。

〔新設〕

1. コンクリート、モルタル面などの平滑仕上げ

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
素地調整	エフロレッセンス、レイタンス、ゴミ、汚れなど付着物を完全に除去し、乾燥した清浄な面とする。(含水率10%以下、pH9.5以下)					
下 塗 り ^{注6)}	033ライン ハイパーシーラーエポ ^{注7)} 配合比(重量)主剤:硬化剤=5:1 (弱溶剤系反応形成樹脂シーラー)	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 0% エアレス : 0% 通常不要	1	0.08~0.13	4時間以上 7日以内 ^{注5)}
上 塗 り	114ライン ユメロック 配合比(重量)主剤:硬化剤=9:1	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15% エアレス : 10~20%	2	0.11~0.13	2時間以上

2. 鉄部・非鉄金属部

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
素地調整	電動工具、手工具を併用し、黒皮や赤サビを念入りに除去する。日本道路協会素地調整「2種ケレン」、又はSIS St3程度。じんあい、水分、油分は完全に除去する。					
下 塗 り ^{注4)}	061ライン 2液型サビカット 配合比(重量)主剤:硬化剤=9:1 (弱溶剤系変性エポキシ樹脂プライマー)	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 0~ 5% エアレス : 5~10%	1	0.13~0.15	4時間以上 7日以内 ^{注5)}
上 塗 り	114ライン ユメロック 配合比(重量)主剤:硬化剤=9:1	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15% エアレス : 10~20%	2	0.11~0.13	2時間以上

3. 木部^{注8)}

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
素地調整	オービタルサンダーでP180~P240ペーパーを用いて、汚れ、付着物、ケバダチを除去して平滑な面にする。木のヤニは削り取るか、又は焼きゴテで処理し、揮発油でふきとる。節およびその周辺はセラックニスで節止めを行い、穴埋めの必要なときは、ロックポリパテで穴埋めを行う。					
下 塗 り	051ライン ロック木部用マルチ下塗り ^{注9)}	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15% エアレス : 10~20%	1	0.12~0.20	4時間以上 7日以内
上 塗 り	114ライン ユメロック 配合比(重量)主剤:硬化剤=9:1 ※硬化剤は114-0120木部・弾性用を使用	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15% エアレス : 10~20%	2	0.11~0.13	2時間以上

注4) 鉄部、非鉄金属部の下塗りには、1液型変性エポキシ系の「サビカットシリーズ」や、溶剤型2液変性エポキシ系「ロックエポキシハイプライマー」を使用することもできますが、高防食性が必要な場合や亜鉛メッキ面には「2液型サビカット」または「ロックエポキシハイプライマー」を推奨します。また素地への付着性や素地・下地調整の方法など詳細はそれぞれのカタログをご参照ください。

注5) 夏場の高温時は硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず実施してください。上塗りとの付着性が低下します。

注6) 吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。シーラー塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装してください。

注7) ハイパーシーラーエポは透明とホワイトがあります。下塗りは他にユメロックシーラー(透明又はホワイト)、エポシーラーマルチ(透明)ロックカチオンシーラーマルチⅢ(透明)、ロックカチオンシーラーマルチ ホワイト、ハイパーシーラーアクア(透明)があります。

また窯業系サイディングボード面には 032-2001 ロック SB フィラーを下塗りとする仕様もありますので、最寄りの営業所までお問い合わせください。

注8) 木部については、用途(カウンター、テーブル、椅子、棚、床等)により塗装に適さない場合がありますので、弊社営業までお問い合わせください。

注9) ロック木部用マルチ下塗りは、ホワイト、チョコレート、ブラックの3色あります。

※仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮にいれた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。

施工上の注意事項

- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯れ葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 塗装中および塗装後24時間は5℃以下にならない場所で使用してください。また、湿度が85%以上の場合は塗装を避けてください。
- たえず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装は避けてください。
- 塗料液と硬化剤には、湿気と反応する成分が含まれています。貯蔵の際は密栓し、冷暗所に保存してください。また、開栓後はできるだけ早めにご使用ください。水・アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- 調色には必ず114ライン ユメロック原色または、ロックトーンカララント3000(ベースの5%以内)を使用してください。ただしロックトーンカララント3000で調色する場合、フラットベースの使用は避けてください。
- 硬化剤は必ず専用硬化剤(114-0140または114-0120)を使用してください。他の硬化剤を使用すると仕上がりが外観、塗膜性能に悪影響を及ぼします。
- 希釈には必ず塗料用シンナーを使用してください。他種のシンナーを使用すると塗料中の樹脂が破壊されて使用できなくなります。また必要以上に希釈するとタレや色分かれの原因になります。
- 鉄部の塗装には変性エポキシ樹脂系サビ止め塗料(「2液型サビカット」、「ロックエポキシハイプライマー(2液型)」、「サビカットシリーズ(1液型)」)を下塗りしてから塗装してください。亜鉛メッキ鋼板の場合は「2液型サビカット」または「ロックエポキシハイプライマー(2液型)」を下塗りに推奨します。
- 溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいので、素地調整後、補修塗装を行ってから塗装してください。
- ビニロックエラストティックフィラーⅢを砂骨ローラーで塗装する場合には、最初に配り塗りをし、その後ならし塗りをし、塗り継ぎにムラが生じないように行ってください。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ、ローラー境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- スプレーノズルの先端は、時々洗浄してください。作業能率の低下および塗りムラの原因になります。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- シーラー塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間は守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- シーラー類や各種上塗り塗料には防錆性がありませんので、金属製の部分が錆びている場合、錆などを除去、ケレンし、適性のあるサビ止め塗料を下塗り後、上塗り塗装を実施してください。
- シーラーを吸い込みの著しい部材に塗装する場合、「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装を行ってください。
- 塗色が濃い場合、塗膜を強くこすると色落ちすることがありますので注意してください。
- 塗装面の取り合い等で、可塑剤を含む塩ビ鋼板、ラミネート鋼板、プラスチック、ゴムパッキン、塩ビクロスなどへの直接の塗装は、塗膜が軟化することがありますので避けてください。また、これらの素材に塗膜が接触・付着しないように注意してください。
- 屋外セメント系素地に段差や素穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。また吸い込みの多い面などを塗る場合は、各種ロック建築用シーラーで適切なものを使用してあらかじめ下塗りをしておいてください。
- エマルジョンパテの外部での使用は避けてください。
- 改修塗装の場合、素地の種類によって塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い試し塗りすることをおすすめします。
- 旧塗膜が弾性系の塗膜(弾性リシン、弾性スタッコ)やアクリル樹脂エナメルなどの場合、すでにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他断熱性が付与された建材など)を使用した高断熱型住居の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- シーリング材への塗装は、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮割れなどを起こしたり、表面が汚れたりすることがありますので塗装は避けてください。やむを得ず塗装する場合、シーリング材が完全に硬化後、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマーS」を塗装してください。またプライマーで処理しても、シーリング材の種類によっては汚れ、付着不良、剥離、収縮割れが発生する場合があります。
- サイディングボード表面に反り、うねりが発生している場合は、ビスの増し打ちなど状況に応じた補修を行ってください。また補修が困難な場合はボードの張り替えをご検討ください。
- 比較的緻密な素材である押出成形板やGRC板へ塗装する場合は、ユメロックシーラー、ハイパーシーラーエポ、ハイパーシーラーアクアを下塗りとして使用してください。
- フッ素コート処理をはじめ無機系や光触媒処理のサイディングボードには、ハイパーシーラーエポを下塗りに使用してください。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となることがあります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- 夏場の高温時は、硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに実施してください。上塗りとの付着性が低下します。
- この仕様書はすべての工程においてホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆を使用しています。F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素地を含む)を使用したり、各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆仕様でなくなることがありますので注意してください。
- 低汚染性については、被塗物の種類や建物の形状により、また、施工後特に塗膜が十分に乾燥する前、もしくは乾燥して初期の段階で天候不良であった場合、その効果が十分に発揮されない場合があります。
- ツヤの調整品は、被塗物の形状、状態、塗膜厚や塗色などにより、実際のつやと少し違って見える場合があります。あらかじめ試し塗りを実施し確認してください。また、塗り継ぎや補修の際にツヤむらが出やすいため、面を切って通して塗装してください。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では、塗膜の白化、ふくれが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- 塗装作業中および乾燥中は換気を十分にを行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- ユメロックの硬化剤はイソシアネート化合物を含んでおり、スプレーダストを吸引すると鼻、のど、気管支などに障害を起こすおそれがありますので、換気を良くし、適切なマスクを着用して作業を行ってください。過去にアレルギー症状を経験している人は取扱わないでください。
- 上塗りに鮮やかなエロ系、レッド系、ブルー系、グリーン系の塗色で仕上げる場合、塗膜の隠蔽性が弱い傾向にあるため、先に隠蔽性のよい共色(近似色)で下塗り塗装した後、上塗り塗装してください。
- このカタログに記載されている下塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。
- 引火性の危険物および、健康に有害な有機溶剤などを含有していますので、製品容器の注意書きおよび安全データシート(SDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。

◆原色（全て第二石油類です。）

品番	色名	容量	品番	色名	容量
114-0204	ハイホワイト	13.5kg・3.6kg	114-0021	ムエンエロー	13.5kg・3.6kg
114-0303	3分ツヤホワイト	13.5kg	114-0024	ムエンファインエロー ^{注)}	13.5kg・3.6kg
114-0503	5分ツヤホワイト	13.5kg	114-0025	ムエンメジウムエロー ^{注)}	3.6kg
114-0095	フラットベース	13.5kg・3.6kg	114-0029	ムエンオレンジ	3.6kg
114-0150	クリヤー	13.5kg・3.6kg	114-0036	バイオレット	3.6kg
114-0159	フラットクリヤー	13.5kg・3.6kg	114-0040	シンクレッド	3.6kg
—	標準常備色各色 ^{注)}	13.5kg	114-0050	シルバー ^{注)}	13.5kg
114-0140	硬化剤	1.5kg・0.4kg	114-0075	シアニンググリーン	3.6kg
114-0120	木部・弾性用硬化剤	1.5kg・0.4kg	114-0080	ロイヤルブルー	13.5kg・3.6kg
114-H103	ウィークホワイト ^{注)}	13.5kg	114-0210	レッド	3.6kg
			114-0225	オキサイドレッド	13.5kg・3.6kg
			114-0233	オーカー	13.5kg・3.6kg
			114-0234	ブラック	13.5kg・3.6kg

注) ●標準常備色は10色あります。
●ウィークホワイトはロックカララントシステム専用のホワイトベース類です。
●ムエンファインエローの色は冴えたライトオレンジです。
●ムエンメジウムエローの色は冴えたオレンジです。
●シルバーは調色できません。

◆関連下塗塗料

品番	品名	容量	消防法	品番	品名	容量	消防法		
061-7530	2液型サビカット	赤サビ色	14.4kg	2石	061-0530	ブラウン	15kg	2石	
061-7531		グレー			061-0531	ロックエポキシハイプライマー			グレー
061-7532		ホワイト			061-0532	ホワイト			
061-7534		ブラック			061-0011	ロックエポキシハイプライマー 硬化剤			3kg
061-7910	2液型サビカット 硬化剤	1.6kg	2石	061-0021	ロックエポキシハイプライマー 低温用硬化剤	3kg	2石		
061-1540	サビカットII	赤サビ色	16kg	2石	061-3530	赤サビ色	16kg	2石	
061-1541		グレー	4kg		061-3531	サビカットプラス			グレー
061-1542		ホワイト			061-3532	ホワイト			
061-1544		ブラック	16kg		032-2106	ビニロックエラストックフィラーⅢ			16kg
033-5110	ユメロックシーラー	ホワイト	12.5kg	2石	032-2001	ロックSBフィラー	15kg	非	
033-5150		(透明)			033-1160	ロックカチオンシーラーマルチ ホワイト	15kg	非	
033-5910	ユメロックシーラー 硬化剤	2.5kg	2石	033-1179	ロックカチオンシーラーマルチⅢ	15kg	非		
033-6110	ハイパーシーラーエポ	ホワイト	12.5kg	2石	033-7700	ハイパーシーラーアクア 主剤 (透明)	14kg	非	
033-6150		(透明)			033-7910	ハイパーシーラーアクア 硬化剤	1kg	3石	
033-6910	ハイパーシーラーエポ 硬化剤	2.5kg	2石	051-1531	ロック木部用マルチ下塗り	ホワイト	16kg	2石	
033-8150	エポシーラーマルチ (透明)	14kg	2石	051-1532		チョコレート			4kg
				051-1533		ブラック			

安全衛生上及び取扱上の注意

〔製品の危険・有害性〕

- 引火性の液体である。
- 溶剤蒸気を吸入すると有機溶剤中毒になるおそれがある。
- 目、皮膚、粘膜などに対し刺激性がある。

〔救急処置〕

- 目に入った場合は直ちに多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 蒸気・ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

〔取扱注意事項〕

- 取扱は引火源のないところで行い、特に静電気が発生するような衣服の着用や取扱は避けてください。
- 取扱作業所には局所排気装置を設け、塗装時及び乾燥時には十分換気を行ってください。
- 溶剤蒸気やスプレーダストを吸引しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。
- 取扱中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護めがね、保護手袋(耐溶剤性)、長袖作業着などを着用してください。
- 取扱後は手洗い及びうがいを十分に行い、作業着などに付着した汚れをよく落としてください。
- よくふたをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手の届かない場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
- 指定された以外の製品と混合しないでください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
- 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

〔施工後の安全性について〕

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うようにご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

安全データシート(SDS)をよく読んでから取り扱ってください。

ロックペイント株式会社

東京営業部 / 〒136-0076 / 東京都江東区南砂2丁目37番2号 ☎(03)3640-6000 FAX (03)3640-9000
大阪営業部 / 〒555-0033 / 大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号 ☎(06)6473-1650 FAX (06)6473-1000
札幌営業所 / 〒003-0011 / 札幌市白石区中央一条4丁目3番48号 ☎(011)812-2761 FAX (011)812-9304
仙台営業所 / 〒983-0044 / 仙台市宮城野区宮千代2丁目3番11号 渡正ビル201号室 ☎(022)349-8677 FAX (022)283-3255
西関東営業所 / 〒252-0131 / 神奈川県相模原市緑区西橋本1丁目15番16号 ☎(042)700-3111 FAX (042)700-3112
名古屋営業所 / 〒454-0059 / 名古屋市中川区福川町1丁目1番地 ☎(052)351-6500 FAX (052)361-7433
岡山営業所 / 〒701-1134 / 岡山市北区三和1000番34 ☎(086)294-1201 FAX (086)294-6966
福岡営業所 / 〒811-0119 / 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3丁目2番1号 ☎(092)962-0661 FAX (092)963-1241

URL : <https://www.rockpaint.co.jp>

- 本カタログの内容については、予告無しに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店：